

2022年11月22日

各位

三井住友信託銀行株式会社

Breakthrough Energy Catalyst への参画について

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也 以下「当社」)は、脱炭素技術の社会実装を進めるプログラム Breakthrough Energy Catalyst(以下「Catalyst」)へ、日本の金融機関として初めて参画をすることとなりましたのでお知らせいたします。

Catalyst は、米マイクロソフトの創業者であるビル・ゲイツ氏が、2015年に設立した Breakthrough Energy が 2021年に立ち上げたプログラムであり、研究開発・実証を終えた革新的な脱炭素技術(グリーンテック)を用いた個別プロジェクトへの投資等を行い、当該技術の社会実装を加速させるものです。

Catalyst は、民間企業や慈善団体などからの資金供給に加え、グリーン製品の需要家や政府機関からの支援を組み合わせる触媒(Catalyst)として、世界の脱炭素化を加速させる枠組みを構築しています。まずは、①グリーン水素製造(Clean Hydrogen)、②長期エネルギー貯蔵(Long Duration Energy Storage)、③持続可能な航空燃料(Sustainable Aviation Fuel)、④直接空気回収(Direct Air Capture)の4分野に注力し、将来的には他の脱炭素に資する技術にも拡張していく予定です。

当社は Catalyst へ参画し、グリーンテック分野における最先端の動向・知見の獲得を行い、お客さまの脱炭素化に資するビジネスマッチングなどの機会の創出を促進していきます。

当社は、「信託の力で、新たな価値を創造し、お客さまや社会の豊かな未来を花開かせる」をパーパスとして定義し、「社会的価値創出と経済的価値創出の両立」を経営の根幹に据えています。

Catalyst をはじめとした気候変動にかかる国内外での連携を幅広く強化・推進していくとともに、カーボンニュートラル達成に資するお客さまのさまざまな事業活動を支援していくことで、お客さまの中長期的な企業価値向上に貢献することを引き続き目指していきます。

【Breakthrough Energy Catalyst 概要】

設立年	2021年(米国)
目的	脱炭素に資するグリーンテックの社会実装の促進
事業内容	民間企業や慈善団体、オフテイク(製品・サービスの需要家)、政府機関が個別プロジェクトに資金を提供し、グリーン製品の早期コスト削減および商用化を実現する。資金の提供方法は、Catalyst からのグラント(助成金)に加え、Catalyst が運用するファンド経由のエクイティ投資がある。
投資対象	①グリーン水素製造(Clean Hydrogen)、②長期エネルギー貯蔵(Long Duration Energy Storage)、③持続可能な航空燃料(Sustainable Aviation Fuel)、④直接空気回収(Direct Air Capture)、の4分野。 将来的には他分野にも拡張していく予定。

以上